

テーマ：『園内での収穫に関わり、広く食育を学ぶ』

学校法人 山王学園

伊勢原山王幼稚園

Tel. 0463-95-4550

担当 小山 直久

者：



■実践内容：

伊勢原山王幼稚園では園庭に小さな田圃・畑をつくり、年長児(当事業開始時は年中)全員参加で、子どもたちの手で、麦の種蒔き・収穫、田植えまでを行った(現時点での予定では今10月中に刈入れを行うことになっている)。この間、皆が麦・稲の生育変化について日々観察をおこなった。さらに、クラスごとに月一回ほど麦・稲の生長の様子や気付いたことを簡単にスケッチさせたり、話し合ったりする時間を設けた。

■実践成果：

上記のように、子どもたちが種苗のときから自らの手で関わり育てた植物が日を追うごとに生長して遂には実を結ぶ過程を観察したことで、子どもたちはいつも自分たちが何気なく食べているパンやお米の大切さを具体的に認識出来たようである。

■実践ポイント：

種苗の植え付けから水やり、日々の観察から刈入れまでの全過程で園児を主体的に関わらせることを一番のポイントにおいた。その際、植物の生長を観察するといっても一日の変化はほとんど目に見えないものなので、飽きさせず

に子どもたちに観察させるため、特に後半の水田にはザリガニ、ドジョウ、タニシなどの小動物をいれる工夫をした。